

用語管理システムの開発研究

Research and Development of a Term Management System

どんな研究？

様々な研究分野で重要な問題となっている用語管理を支援するシステムの開発を行います。システムの基本的構造と、管理を支援する上で有効な機能を明かにし、実際のシステムとして実現することを目的としています。

何がわかる？

様々な分野で用語が体系的に管理されることにより、文献や資料の活用がより効果的に行えるようになることが期待できます。また、研究活動の活性化にも役立つと期待されます。

状況設定

学術研究のさまざまな分野では、分野で取り扱う対象や手法を簡潔に記述するために専門用語を用います。どのような用語が実際に使われているかを整理しておくことは、研究分野の議論を効果的に行い、情報利用の高度化を図るために重要な課題です。

一方で実際の文献でどのような用語が実際に利用されており、用語間の関係がどのようなものであるかを継続的に調査し、用語集を常に最新のものとするには大きな労力を必要とします。結果として実際には十分な用語管理が行われていないとは言えないのが実状です。

この研究では用語管理の負担を軽減するための支援機能を備えた用語管理システムを実際に開発することにより、用語管理の問題を改善する方法を研究しています。

研究内容

様々な研究分野の用語管理のためのシステムを開発します。

学術研究分野では、情報交換を円滑にし、文献などの情報を高度活用できる環境を整備するため、用語情報の整理が求められています。しかし、一方で用語管理は大きな労力を必要とする作業でもあり、十分な用語管理を行うことは必ずしも簡単なことではありません。この研究の目的は、用語管理のための労力をできるだけ軽減できるシステムを開発することにあります。

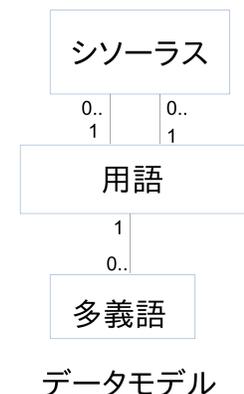
今回開発中のシステムでは、学会など複数の研究分野ごとにそれぞれ独立したデータベースを定義し、各データベースを、複数のメンテナが同時に操作できるシステムとしています。システムへはパソコンのWebブラウザを用いて、ネットワーク経由でアクセスできます。

データベースの中心は、用語、シソーラス、多義語という3つのテーブルから構成されており、用語を相互に関連付けた形で管理することが可能になっています。用語間の関係を管理するシソーラスに登録する関係は、広義、狭義、同義、関連、を想定しており、広義、狭義、同義については、登録と同時に逆関係も登録しています。多義語の管理には本来は概念レベルでの管理が必要ですが、操作が煩雑になる恐れのあるため、今回は表記レベルでの管理に留めています。

用語を管理する上で問題となるのは、新しい用語の登録ですが、この作業をを支援する目的で、文献（抄録）テーブルと用語候補テーブルを用意しています。文献を登録しておけば、当該文献を参照しながら用語登録が行えると同時に、自動用語候補抽出機能によって、文献から抽出できる用語候補を参照し、用語と判断したものについてはその場で用語として登録できる機能も備えています。

あらかじめ参照文献を登録しておけば、文献から抽出された用語候補を条件を指定して検索し、結果から適切なものを選択して登録することもできます。

この研究は科学研究助成事業、基盤(C),24500303の援助の下に行われています。



遺伝的アルゴリズム	イデンテキアルゴリズム
インタプリタ言語	インタプリタゲンゴ
衛星画像	エイセイガゾウ
A T M	エイティーエム poly
P Asynchronous Transfer Mode	
P Automated Tellers Machine	
R BT 情報端末装置	
R BT 通信プロトコル	
エキスパートシステム	エキスパートシステム
オブジェクト指向言語	オブジェクトシコウゲンゴ
カラー画像	カラーガゾウ
関数型言語	カンスウガタゲンゴ
R N T C言語	
R BT プログラミング言語	

辞書の部分例